

# もみじ

104



発行：放送大学福島学習センター  
機関誌

〒963-8025

郡山市桑野1丁目22-21

TEL 024-921-7471

いわきサテライトスペース

TEL 0246-22-7318

<https://www.ouj.ac.jp>

## —もみじの由来—

福島学習センターの建物は、もみじ館と呼ばれ、郡山女子大学発祥の地である。青葉の頃、紅葉の時期それぞれに美しい色どりが心をなぐさめる。当センター機関誌の名称としてまことにふさわしい。

重要!

## お知らせ

◆面接授業や学習センター等の重要な情報については、システムWAKABA及び福島学習センターウェブサイトに掲載いたしますので、必ず週に1度はチェックするようにしてください。

【システムWAKABA】

<https://www.wakaba.ouj.ac.jp/portal/>

【福島学習センターウェブサイト】

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/fukushima/>

### ◆年末年始及び月曜日・祝日以外の学習センター閉所日について

12月28日(木)～1月4日(木)・1月9日(火)・1月25日(木)・2月10日(土)・3月19日(火)

あわせて『利用の手引き』の日程表、もしくは福島学習センターウェブサイトのセンタースケジュールもご確認ください。

※2023年度『利用の手引き』第2学期日程表にある2月22日(木)の閉所は23日(金)の誤りです。申し訳ございませんが、ご確認をよろしくお願いいたします。

### ◆次学期に向けての手続きについて

- 次学期も学籍が続く方は、**2月13日(火)～2月28日(水)【必着】**の期間内に科目登録申請票(システムWAKABA申請可 **2月13日(火)～2月29日(木)**)を郵送してください。
- 今学期学籍が切れる方で次学期も学習を継続される方、再試験を受ける方は、**2月29日(木)【第1回】、3月12日(火)【第2回】【必着】**まで継続入学出願票(システムWAKABA継続入学申請から出願可)または一般の学生募集要項の出願票を郵送してください。

### ◆機関誌『もみじ』及び『利用の手引き』の配布方法について

配布方法については、福島学習センターウェブサイト内の「機関誌紹介」及び「各種お手続き」(下記URL)に配布方法が掲載されています。配布希望者の方はウェブサイトを参照の上、お手続きをしてください。

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/fukushima/about/magazine.html>

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/fukushima/procedure/>



## 「わからない」ことからの学び

五十嵐 敦

世の中、「わからない」ことが多いです。でも、わかったようなことをいう人もたくさんいますね。偏った情報や知識、情報過多の中で都合のよい、わかりやすいものに私たちは飛びついてしまいます。「あの店はおいしいよ!」と言われ、「本当かな?メニューは全部食べてみた?」などといっていると嫌われてしまいそうですね。

わかったつもりになると学ばなくなります。というか、わかるものやわかりやすいものだけを受け入れて、それまでの理解(と呼ぶかどうか)をより強固にし、わからないものを排除し、わかり合えないと戦争にまで発展します。むしろ、わかったつもりになって敵と決めつけ、自分たちとは相いれないから戦う。「わかる」というのは怖いものです。

以前ある件で、それまでの経過や当事者・関係者と直接のやり取りから「わからない」と発言しました。ところがソーシャルワーカーや臨床家などが、「それは家族、親子関係の…に起因した…」と決めつけたのです。怖かったですね。この人たちは、自分の専門(と言えるのか?)、あるいは聞きかじったり、たまたま読んだ本の情報から「わかった」つもりになって、他の要因を考慮したり異なる次元から検討することを放棄しています。学びとは、そこにとどまることではなく、わからないことを前提に柔軟な目で検証、応用していく力ではないでしょうか。

学習センターで皆さんと学んでいくことは、「わからない」の連続です。それでは無責任ですから、「わかる」範囲と視点からコメントし、「わからない」ことを一緒に考えたり教えていただいたりしています。一市民として素朴な疑問を発するようになっています(ゼミに参加されている方々、ゴメンナサイ、そしてアリガトウございます)。

批判的思考とは、「相手の発言に耳を傾け、証拠や論理、感情を的確に解釈すること、自分の考えに誤りや偏りが無いかを振り返ること」とされています(これも本当かどうか調べてみましょう…)。批判的思考は、市民としての生活に必要なコミュニケーション能力を支え、良き市民になるために大切なことのように思われます。しかし、私たちは学んでから生きているわけではありませんね。生活しながら学んでいます。

遠い昔に聞いたソクラテスの「無知の知」ということでしょうか。デューイの「省察的思考…深遠や知識を、それを支えている根拠とそこから導き出される結論に照らして、能動的、持続的、慎重に考慮する思考」など、何を言っているのかよくわかりませんが、批判的思考の態度は科学リテラシーを高め、病気や食生活の知識を高めます。結果として病気への適応を高めていた(楠見ら、2009)という報告もあるので、筆者も自分の勉強不足を棚に上げ、「わからない」を駆使して学んでいきたいと思えます。と、わかったようなことを書いてしまいましたか?

本年もよろしくお願いいたします。

# 令和5年度第1学期 卒業証書・学位記授与式

令和5年9月24日(日)福島学習センター、10月1日(日)いわきサテライトスペースにて卒業証書・学位記授与式が行われ、卒業を迎えられた26名のうち8名の出席がありました。

学歌斉唱のあと、中田所長から一人ひとりに卒業証書・学位記が手渡され、お祝いの式辞がありました。

続いて卒業生を代表して、福島学習センターでは安齋ケイ子さん、いわきサテライトスペースでは大野一夫さんが「御礼のことば」を述べました。

ご卒業おめでとうございます



※延べ卒業生数 大学院59名 教養学部1,003名  
(いわきサテライトスペース卒業生数含む)

## 令和5年度第2学期 入学者の集い

卒業証書・学位記授与式に引き続き、令和5年度第2学期入学者の集いとオリエンテーションが行われました。中田所長の挨拶の後、オリエンテーションでは放送授業、面接授業、オンライン授業、施設の利用方法、客員教員ゼミや所長カフェ等の説明が行われ、新入生の皆さんは熱心に聞いておられました(写真はいわきサテライトスペース)。

